

# 大 津 朝



千葉県助産師会

第 46 号 令和 7 年 3 月

## 1. 会長挨拶

(一社)千葉県助産師会 会長 志村 千鶴子 9 地区 亀田医療大学大学院

2024 年度事業活動は、皆様のご協力とご尽力により、進めることができました。今年度の活動について次年度の契約を見直す時期にあり、関係法規改正や自治体の母子保健事業の動向を反映させて、協定書や契約書に定める助産師に対する報酬を見直し、時代の要請に応じた報酬の確保に努めています。

現在、四街道市から「災害時の支援活動に関する協定」締結の依頼を受け、地区長、地区災害委員と連携し、地域特性に応じた災害時の母子支援ができるよう取り組んでいます。産前産後ケア事業はさらなる拡充が求められ、地域による格差の解消や利用者がより活用しやすいシステム構築に向けて、医療機関や助産所での実施状況を把握し、自治体や医師会、地域の保健センター等と情報共有しながら取り組んでいます。

また、令和 7 年度千葉県委託事業として、思春期オンライン相談事業が提示されました。本会の電話相談事業や生と性の健康教育活動の実績を踏まえ、助産師による包括的性教育の一つとして新たに取り組む良い機会と捉えています。研修会の企画等、思春期相談に対応できる人材育成にも注力したいと考えています。今後も、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



### CONTENTS

1. あいさつ	1
2. 千葉県助産師会通常総会	2
3. 勤務助産師部会研修	3
4. 生と性の健康教育委員会研修	3
5. 子育て委員会研修	4
6. 九都県市合同防災訓練	5
7. 産後ケア(船橋市)	6
8. 令和 6 年度表彰者	6
9. 菜の花会	7
10. 会計からのお知らせ	7
11. 編集後記	8

## 2. 令和7年度 一般社団法人 千葉県助産師会通常総会

次第

令和7年4月27日(日)開催

- 9:30 受付
- 9:55 オリエンテーション
- 10:00 開会宣言  
会長挨拶  
来賓挨拶  
表彰(令和6年度)
- 10:30 総会開会  
議長団選出  
審議事項
- 第1号議案 令和6年度 活動報告
- 1) 運営会議・理事会報告および事業報告
  - 2) 地区部会 活動報告
  - 3) 専門部会 活動報告
  - 4) 委員会 活動報告
  - 5) 行政および関連団体等への参加状況報告
- 第2号議案 令和6年度 収支決算報告および監査報告
- 第3号議案 令和7年度 事業計画(案)
- 1) 事業計画骨子(案)
  - 2) 地区部会 活動計画(案)
  - 3) 専門部会 活動計画(案)
  - 4) 委員会 活動計画(案)
- 第4号議案 令和7年度 収支予算(案)
- 第5号議案 その他
- 12:00 総会閉会
- 12:10 部会集会
- 13:00 令和7年度 第2回理事会

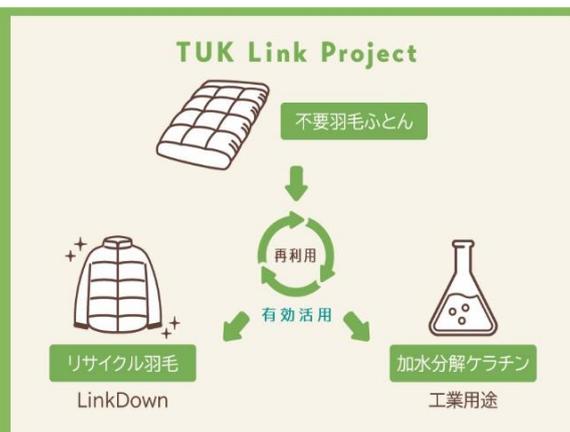
### 不要な羽毛ふとんはありませんか？ 東洋羽毛が無料でお引取りします。

東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを通じて、  
SDGs(持続可能な開発目標)の活動に取り組んでいます。

引取り詳細▶



- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は「羽毛ふとん」です。掛けふとん・敷きふとん・まくら等の羽毛製品のみです。
- リサイクル羽毛として活用できないものや羽毛ふとん以外は引取りできません。
- 東洋羽毛以外の羽毛ふとんも引取り可能です。



東洋羽毛北関東販売株式会社

〒285-0815 千葉県佐倉市城354-8

千葉営業所

☎0120-006-745

### 3. 勤務助産師部会研修

勤務助産師部会	大久保 洋子	4 地区	前田産婦人科
	大江 朋子	2 地区	佐野産婦人科
	山中 真弓	1 地区	野田看護専門学校

勤務助産師部会では、4月総会時での皆様のご要望を取り入れ、12月15日(日)「安全な無痛分娩のための知識」研修会を開催しました。全体を2部構成とし、講師は、成田赤十字病院婦人腫瘍科部長「海野洋一氏」および神奈川県立保健福祉大学看護学科准教授「田辺けい子氏」をお招きしました。第一部では、医師より「産科麻酔の基本的知識と観察ポイント」「リスクと対応」について、第二部では、助産師より、「無痛分娩に求められる助産ケアや分娩管理」「リスクと助産対応」についてご講義頂きました。第一部では、無痛分娩での麻酔法や副作用、管理について学ぶとともに、普通分娩に比較し、器械分娩率の増加や分娩第二期延長は認められるも、分娩時出血量や帝王切開率、児の予後には有意差が無いことがわかりました。また、第二部では、妊娠中から自分の体に向き合うためのセルフケア指導や安産に導く姿勢や努責、観察ポイントなど具体的な技術を学ぶことができました。無痛分娩も助産技術の基本は変わらず、安産に導くケアやかかわりは徹底的に取り入れることを再認識しました。また、田辺氏は「飛ぶ無痛 Café」を立ち上げておられ、無痛分娩に関する助産ケアについて動画により学べるサイトを手掛けております。関心のある方はご覧ください。受講後のアンケートでは、ご参加頂いた勤務助産師、保健指導助産師、助産所助産師の皆様から、講義への理解度も高く、日々の助産業務に取り入れられる内容であったとの回答が得られました。今後の研修希望では、「産後ケアの実際」「産褥期のメンタルヘルス」「小児期からの性教育」「微弱陣痛時の助産所でのケアの実際」などが挙げられています。各地区から広くご参加頂きましたが、参加者の総数はまだ少ないのが現状です。今回の希望を生かしながら、日々のケアに役立つ研修会を開催したいと思います。皆様のご参加お待ちしております。また、助産師同士の交流ができる対面形式での研修会も開催して行きたいと思っております。

### 4. 生と性の健康教育委員会研修

生と性の健康教育委員会委員長 小路和子 1地区 和(なごみ)助産院

7月7日(日)、千葉市生涯学習センターにおいて、「いのちと性に関するお気に入りの一冊を持ち寄って～講師をやっているひとこれからのも、みんな集まれ！！～」をテーマに交流会を開催いたしました。

まずは、それぞれが持参した本を手により自己紹介。本の内容やなぜこの本を選んだかに始まり、皆さんの性教育への思いや、性教育に携わりたいと思ったきっかけ、実践の内容など沢山のお話を伺うことが出来ました。その後のグループワークでは、日頃なかなか人と分かち合うことのできない気持ちを共有したり、「〇〇はどう伝えている？」など意見や工夫を交換したり、これから講師になりたい人がベテラン勢に様々な質問をなさっていたり。あちこちで笑い声が聞こえつつ、それぞれのグループで内容が深まり、充実した時間となりました。



お気に入りの一冊を持ち寄った交流会の様子

みなさんが紹介して下さった本や参加者の感想については、令和6年9月24日発行のニューズレターで詳細をお伝えしています。ぜひご一読ください。会員メールに登録していない方で、ニューズレターをご覧になりたい場合は、

各地区の生と性の健康教育委員までお声かけくださいませ。

次号のニュースレターは「大月書店訪問」を特集していて、こちらも沢山の本をご紹介します。お楽しみに。

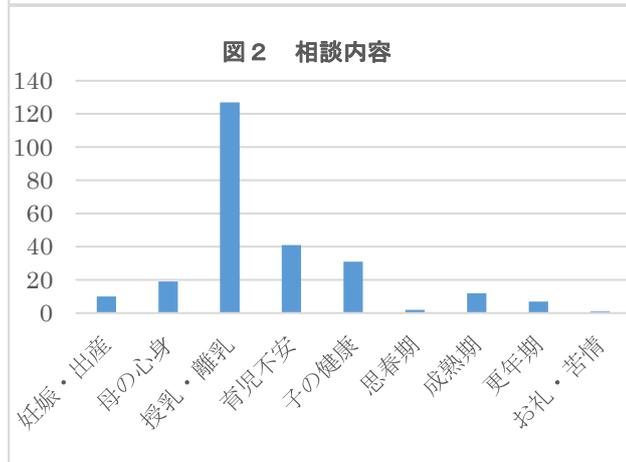
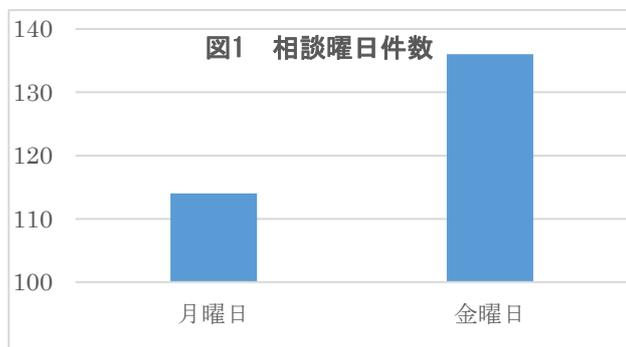
新しい知識や情報を得るための研修は沢山あるから、生と性の健康教育委員会ではできない研修や交流会を開催したいと委員で話し合っています。次回は令和7年6月22日の予定です。どうぞご参加ください。

## 5. 子育て委員会研修

子育て委員会委員長 渡辺佐智子 7地区 まんまる助産院

新型コロナウイルス感染症がようやく落ち着き、ようやく日常の生活が戻ってきたような印象ですが、従来の感染症も猛威を振るっており、ママを取り巻く環境はいまだ不安が残る状態が続いております。令和6年度の電話無料相談は、週5日から、月曜日と金曜日の週2回に変更となりました。月曜日が46%、金曜日が54%と金曜日の方が相談件数は若干多かったです。(図1)

4月~12月までの全相談件数は、251件で、毎月の平均件数は約30件でした。



相談内容は圧倒的に授乳・離乳の相談が51%と相談件数の約半分を占めており、続いて育児不安16%、子の健康12%でした。(図2)それに伴い相談者の年齢も30代女性が圧倒的に多かったです。例年と比較すると、相談件数は1/3に減少していますが、相談内容には大きな変化はありませんでした。協力相談員(協力員)の減少もあり、協力員を増やすためにも、今年度の交流会では、ZOOMで、金曜日の夜に、参加登録不要、どなたでも参加可能な形式に致しました。事例検討会に加え、7月には「電話相談の目的」で、参加者は34名、11月は「傾聴とは」をテーマにディスカッションなども行いました。お陰様で来年度から新しく協力員に御協力頂く会員も少し増えました。

相談の中には、相談者自身の心身の深刻な悩み等もあり、協力員一人一人が真摯に相談者と向き合っている姿が記録からも推察できました。記録郵送の際の一言メッセージにも力を頂きました。協力員の皆様には感謝しかありません。また今年度から、協力員のグループLINEを作成し、運用には大きな利点がありました。リマインドメールを廃止し、子育て委員からのお知らせLINEに担当予定者が返信し、協力員交代、リピーターや少し困った事例やトラブルなども全員で共有でき、今後も持続可能な体制だと思います。あと1か月、9地区へのバトンが渡せるように頑張りたいと思います。

朝からぐすっ泣いて、  
ずっと泣いています。



それは心配ですね。少し  
お話を聞かせてください。  
お熱はないですか？



## 6. 九都県市合同防災訓練

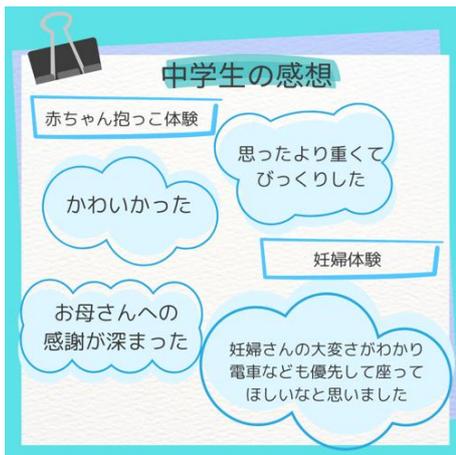
災害対策委員会委員長 金子真理恵 7地区 リンコイ助産院

2024年10月20日(日)、いすみ市で開催された第45回九都県市合同防災訓練に参加しましたのでご報告します。

### 【防災フェア】

助産師の活動紹介や災害時の母子支援についての啓発を行いました。

男性30名、女性23名、乳児1名、幼児10名、小学生7名、中学生97名で延べ168名の方が参加！



### 【避難所運営訓練】

初めての試みとして〈災害派遣医療チーム(DMAT)・災害福祉支援チーム(DWAT)・日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)・助産師会〉専門職団体4チームで協力して活動しました。

準備から当日までディスカッションを重ね、他職種との絆が深まりました。



行政や他団体、そして一般市民の方との交流の機会となり、充実した活動になりました。皆様、ご協力ありがとうございました。

## 7. 産後ケア（船橋市）

船橋市訪問型産後ケアコーディネーター 田村陽子 3 地区 田村助産院

船橋市は人口 64 万人、出生数約 4,100 人 という県内 2 番目の都市です。行政の実施する母子保健事業には、多くの助産師会会員が従事しています。パパママ教室・乳幼児健診など、保健センターで行っている事業や養育支援・新生児の訪問事業も個人委嘱ではありますが、会員同士で協力しながら従事しております。30 年程前には、船橋市に独自の子育てダイヤルがあり、助産師会の経験豊かな先輩助産師が一部を担当していました。まさに、先輩たちの築いて下さった行政との絆が今に引き継がれています。

中核市である船橋市ですが、産後ケア事業に本腰を入れ始めたのは、遅い方だったと思います。5 年程は産院が行う宿泊型のみでした。コロナ禍も挟まり、親族から支援を受けられない方も多く、産後ケアの必要性が高まったと思いますが、厳しい時期を通り抜けて、ようやく通所型や訪問型が追加されました。松戸市等を参考に、訪問型は助産師会さんをお願いしたいと言われましたが、その際、「千葉県助産師会委託でも、船橋地区助産師会委託でも、どちらでも良いですよ」ということでした。船橋地区助産師会への信頼があったからだと思いますが、将来の事を見据えて、県助産師会の委託としていただきました。今後、様々な交渉時には大きな組織の方が良いと思ったからです。そして今、重要視されている安全対策においても、多くの地区との意見交換が力になると思ったからです。

訪問型の産後ケアが始まって丸 2 年になりました。今年度は担当 8 人で始まりましたが、75 歳という年齢の制限ができたり、本業が忙しくなって一旦お休みの人も出たり、現在 6 人でやり繰りしています。昨年度より件数は増えており、希望があれば誰でも使える方向となっていると最近感じます。しかし、そこまで件数が多いわけではないので、平均的に割り振りするのが難しい時もあり悩むところです。産後ケア事業は、開業権を持つ助産師にとって歓迎すべき政策ではありますが、実施しながら悩むことも多く、みんながまだまだ手探りの状況です。只、話し合える仲間がいる事は心強く、希望されたお母さんに最善の関わりができたか、皆で振り返りながら進んでいきたいと思います。今年度から通所型の産後ケアにも、3 か所の助産院が参加しています。皆、助産師会のメンバーですし、宿泊型の産後ケアを実施している産院にも助産師会のメンバーがいます。広く連携して、船橋市の産後ケア事業に、助産師会という組織を活かしていけたらと思います。



## 8. 令和 6 年度表彰者

恩賜財団母子愛育会会長表彰

進藤 典子 様

公益社団法人母子保健推進会議会長表彰

島森 孝恵 様

公益社団法人日本助産師会会長表彰

正林 文子 様

富田 三奈子 様



**おめでとうございます！**



## 9. 菜の花会

令和6年11月17日に行われました、『菜の花会』は、諸先輩方5名(うち歴代会長3名)と理事13名の計18名が参加し、お互いがエンパワーされ、楽しく過ごして頂けたようでした。



## 10. 会計からのお知らせ

1. 令和6年度 すくすく赤ちゃん献金について  
今年度も2月までに献金をお願いしました。皆様のご厚意によりお送り頂いた献金11,797円は、2月末に日本助産師会へ送金しました。ご協力ありがとうございました。
2. 退会・移動のご連絡と会費について  
退会・都道府県移動のご連絡が4月1日以降になりますと、口座振替や振込で納入された令和7年度会費の返金はできません。
3. 令和6年度末(3月31日)までに退会・他県への移動の手続きをされていない場合、会費を納入されていない方も在籍扱いになりますので、会費の納入をお願いすることになります
4. 日本助産師会・千葉県助産師会の年会費の領収書は、会員 MY ページからダウンロード・保存・印刷をお願いいたします。



# お知らせ



## 1. 研修会について

※詳細は千葉県助産師会ホームページ ("<http://www.midwife-chiba.org>) にてご確認下さい。

開催日	時間	研修会名	場所	担当
6月29日(日)	10:00~12:00	恥骨痛・腱鞘炎・尿漏れに注意！妊娠期からの姿勢と身体の使い方からみる『骨盤健診』の重要性	未定	保健指導部会

## 2. 理事会の日程 4月～6月

	開催日	時間	場所	
第1回	4月13日(日)	9:30~12:30	千葉市生涯学習センター	
第2回	4月27日(日) (総会后)	13:00~14:30	千葉市文化センター	
第3回	6月8日(日)	9:30~12:30	オンライン	

## 3. INFORMATION

### 国際助産師のつどい

担当:第1地区(地区部会長:小林由美子・実行委員長:末安早苗)

開催日:令和7年7月13日(日)10時00分~16時00分

会場:スターズおおたかの森ホール・スターズ前 野外スペース

テーマ:地域でつながる!はぐくむ! ~ファミリーウエルネス with 助産師~

地域の子育て支援団体との絆を深め、子育てをみんなで支え、育んでいく…というコンセプトで企画しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

物故会員 鶴岡 基子 様 (4地区) ご冥福をお祈り申し上げます。

## 4. メーリングリストについて

- ・氏名や住所の変更があった場合は、速やかに変更手続きをお願いいたします。
- ・メーリングリストに登録すると、助産師会と関連のある団体の研修会の案内等も届きます。

# 11. 編集後記

令和7年に入り、日本海側では記録的な積雪となり、雪に慣れている地でも日常生活に支障を来している状況です。また、埼玉県八潮市の道路陥没事故では、社会インフラの老朽化による問題が明らかになり、今回のような大規模な道路の陥没は、どこにでも起こりうるという怖さを感じています。自然災害や社会インフラの崩壊は、私たちの生活に甚大な影響を与え、何気なく暮らしている日常生活の大切さをあらためて思い知らされます。

さて、このような状況でも春は確実に近づいています。今年の桜の開花予想、東京は3月25日頃と発表されました。この大潮が届く頃には、桜の便りも少しずつ聞こえるでしょう。ご協力いただいた執筆者の方々に感謝しつつ、春の便りと一緒に大潮をお届けします。

広報委員：齋藤明子・佐藤幸江・富田三奈子・宇梶智恵美

